

我孫子北近隣センターだより

発行：我孫子北まちづくり協議会

つと 集うことから はじまるまちづくり!! 春を近隣センターで楽しもう!

我孫子北まちづくり協議会主催イベント

◆懐かしの名画鑑賞会 「夫婦善哉」(モノクロ120分、1955年作品)
昭和初期の上方人情たっぷりの文芸作品 森繁・淡島の名コンビが切なく紡ぐ夫婦愛
主 演：森繁久彌、淡島千景

日 時：①3月16日(木) 13:30~15:30
先着 120名 並木本館 多目的ホール
②3月23日(木) 13:30~15:30
先着 50名 つくし野館

*入場無料・申込み不要



◆6月名画鑑賞会の予告「風と共に去りぬ」(カラー212分、日本語吹替え、1939年作品)

主 演：ヴィヴィアン・リー、クラーク・ゲーブル

日 時：①6月16日(金) 13:30~17:15
先着 120名 多目的ホール
②6月22日(木) 13:30~17:15
先着 50名 つくし野館

途中休憩あり

*入場無料・申込み不要

◆我孫子北まちづくり協議会 定期総会のお知らせ
日 時：4月29日(土/祝) 10:00~
場 所：並木本館 多目的ホール

問合せ：7157-4517 (並木本館)
7157-4085 (つくし野館)



地域会議が我孫子北地区でスタートします。

我孫子北まちづくり協議会が事務局となり、地域の自治会、社会福祉協議会や民生・児童委員などの方々の支援を得て、この5月には地域会議をスタートさせるための準備を行っています。

「でも、地域会議って何なのかうなあ？」

「我孫子市が地域の活性化のために始めた施策で、分野を超えて地域の人々やさまざまな団体が一つのテーブルに着いて、地域の現状や課題などについて、話し合えるしくみだよ。その会議のなかで、地域の現状の把握や、情報交換、意見交換などを通じて、課題が見えてきたら、皆で連携・協力してその解決に取り組むこともできるんだよ。」



「地域会議は誰でも参加できるうなあ？」



「市民なら誰でも参加できるのが基本だよ。でも初めは、町内会や自治会の人たちと社会福祉協議会、民生・児童委員の人たちに参加してもらってスタートする予定だよ。その後、地域で活動するサークルやNPO、学校、医師会、商工会、農業団体などのさまざまな人たちに参加・協力してもらおう予定だよ。」

「そうなんだ。みんなの力で、

自分たちのまちが、住みよくなるといううなあ！」





働く女性の 仕事 子育て まちづくり



◆今村 直美さん N

(地域支援型農業 農産物直売所 アビーズファーム)

「風の色」という屋号で畑を始めて 8 年。現在は CSA (地域支援型農業) に取組んで、70軒の家庭に野菜を宅配している。2400 坪の畑では援農ボランティアや、農業体験をする若者や親子と共に作業をし、食育イベントも行う。川村学園女子大学で栄養学を学ぶ学生に畑の授業を担当。我孫子駅北口に「アビーズファーム」という小さな八百屋さんを新規就農者や福祉作業施設と協力して運営している。高校生の娘がいる。



◆石井 亜矢さん A

(ハコカラの運営 子ども食堂の企画運営)

結婚してから専業主婦だったが、40 歳を前に地域に係る仕事をしたいと起業し、2015 年にクリエイティブスペース「ハコカラ haco-color」を設立。その場所を使用して「子ども食堂」を開設。

カップまつり、竹宵のイベント、女子オープン(ゴルフ)我孫子おもてなしプロジェクトの企画運営に参加。中学生と高校生の娘がいる。



◆新 真由美さん M

(保育士 みんなの学校上映実行委員会)

幼児の息子2人と小学4年生の娘。我孫子に住んで 20 年。仕事はリフォーム業と保育士。保育士に復帰して一年。かつての職場での発達障害の子どもとのかかわりから、誰もが大切にされる学校やコミュニティの実現を願い、昨年主婦仲間で「みんなの学校上映会と講演会」(みんなの学校実行委員会主催)を大成功させた。



人と人のつながりを深め、暮らしやすい地域にしていくために我孫子北地区に地域会議がスタートします。それにちなみ、センターだよりでは、いろいろな世代や立場の方々の地域活動を紹介します。我孫子の北地区の課題や魅力を探っていきたく思います。

第 1 回目は仕事を持ちながら地域活動をしている女性の方々にご自身の生き方、仕事、子育て、まちづくりについて、2 時間ほど語っていただきました。

ママばかりでない自分に

N 子育て中はフルタイムの事務職で忙しく、食事もできないの物を買ってきたりでしんどかった。もう一度暮らし方を考え直し農業を学び就農しました。今は、非化学肥料や無農薬の野菜を育てながら、健康な食生活と豊かな人とのつながりがいい感じです。

A ○○ちゃんのお母さんではない自分の人生を歩んでみたいと思いました。子どもには、1人の人として働き生活を支えている自分の姿を見せ、子ども自身の中にある育つ力を信じたいと思っています。

M なんでこんなに忙しく追われているのかと思ってます。でも、仕事をしてよかったです。世界が広がりたくさんの出会いがありました。本当は地域や社会に向けていろいろやりたいと思うけど、優先すべき子育てと、仕事とのバランスが難しいと感じています。

M 自分も生きづらいと感じるときもあり、困難な事もたくさんあるけど、家族や仲間を支えられてきました。だから仲間は大事だし、周りの人の仲間づくりを応援したいと思っています。

食の大切さ

M 新生児でも便秘をする。朝から目がトロンとしたりあくびが出る子ども。手づくりの温かい食事が取れない子どももいて、食の問題が大きいと思います。子ども達が野菜に触れる機会を多くし、味、匂い、手触りなど五感で味わう体験を大事にしたいです。

T イライラしている人の多くはきちんとした食事が取れていないのではないかな。朝・昼・晩としっかりした食事をとっている高齢者は行動も考え方もしっかりしていると思います。食べる事を大切にしたいです。

N 『フードハブ』といって、生産者と消費者をつなぎ、生産物を上手く循環させる仕組みがあれば、安心できる野菜がもっと手に入りやすくなるのではと思っています。

独身者として

K 子どもがいない人が地域とかかわるのは難しいです。時に、社会が排他的に感じられ閉塞感があります。自分が異質と感ずることもあり地域に出る事に消極的になります。

T 独身者は地域や近所とつながりにくく、社会的な保障も薄く、地域に自分達の居場所のなさを感じています。同世代の子連れのママと、どんな言葉を交わしたらよいのか戸惑う人も多いと思います。

まちづくり活動について

M 初めての実行委員会活動で、協力や協賛をお願いして市や関係団体を回りました。始めは怖かったけど、筋が通ってればしっかり聞いて協力してくれる事がわかりました。沢山の人が繋がり、良くしてもらったので、いずれは恩返しをしたいと思っています。

A 市内の市民活動団体はもっと繋がり連携できると思うのです。わりと連携に消極的で残念だなと思います。長く地域活動をしてきた先輩達の知恵や経験を学び、協力して地域が元気になる事をしていきたいです。

K ボランティアは初めてで、広報紙を作る作業の進め方や、世代の違う人とのお付き合いの仕方、どこまでやったらよいのかなど戸惑う事が多いです。今は広報紙を1人でも多くの地域の方に手にとってもらえるよう魅力ある読みやすい物にしたいと思っています。

K 我孫子に不便さを感じています。まちづくり協議会は、住民にコミュニティについて考えてもらうきっかけづくりが役目ですか？フィールドワークなど、客観的な視点からコミュニティの現実を把握する必要もあると思います。

M 我孫子は子育てがしやすく子育てに協力的で温かい地域なのに、外へ向けてのアピールが下手で残念だと思います。

◆堀江 妙子さん T

(カフェドックの経営 手賀沼カッパ村我孫子支部)

17歳のころから地域の人々が集まって交流できるカフェを開きたいと10年以上、修行や資金集めをした。叔母の店があり馴染みのある久寺家通りに、市の空店舗助成金制度を利用してコミュニティカフェをオープンする。安心安全な食材を使ったメニューを用意し、心を癒す居場所であったり、地域の人や起業を目指す人が気軽に集まり、知らない人同士が交流しネットワークを広げる場になるよう心がけている。市内のイベントに参加し、考案した「うな吉のバーガー」が人気。



◆酒井 清美さん K

(我孫子北まちづくり協議会広報部会員)

母と二人暮らし。我孫子に住んで 38 年。派遣の仕事をしてきたが体調を壊し、現在は自宅で療養しながらオンライン上での仕事をしている。

我孫子北まちづくり協議会広報部会で広報紙デザイン・編集と、HP の担当をしている。



これからはこんな事をしたい

M 我孫子は子供会が無い地区が多い。親も子も仲間を増やす事や、ママ世代と地域をどう結び付ければいいのかを考えていきたいです。いろいろな子どもがいてこそいい、そんなコミュニティにしていきたいです。

K 今後はネイルやお化粧品でお年寄りを元気にするボランティアをしたいです。

T カフェを通して独身の人も地域と繋がる場所づくりをしたいと思っています。

家庭内だけの暮らしに疑問を持って始めた社会的な活動が、いろいろな人との出会いに繋がり、楽しく、自身の生活も充実している様子が快く伝わってきました。

仕事や子育てとのバランスを取りながら、活動する皆さんの元気なパワーに明るい希望を感じました。

独身者や市外に仕事を持つ方々の、地域とかかわる機会をどのように作るかは今後の課題ですね。

途切れる事のない楽しく有意義なお話でした。ご協力ありがとうございました。



我孫子北の高齢者サロン

今回は我孫子北地区で開催されている高齢者のサロンの予定をお知らせします
自治会単位で行われているサロンは、参加者を自治会会員限定で行われている場合もあるので、
利用の場合はお問合せをお願いします。

サロンの名前	つくし野南サロン	コミュニティサロン「きた」	つくし野西サロン	結の会	よりみちサロン「風」
日時	毎月第2・4水曜日 10:00~11:30	毎月第2水曜日 13:30~15:30	毎月第4月曜日 10:00~13:00	毎月火・木・土曜日 10:00~16:00	毎月水・金曜日 10:00~16:00
会場	我孫子北近隣センター 「つくし野館」	我孫子ビレジ集会室 (ショッピング センター2階)	つくし野西集会所	結の会集会所	みんなのひろば「風」 (久寺家)
内容	4/12:カントリー ウエスタン ミニコンサート 4/26:鉛筆スケッチ	貯金体操とお茶会 飲物は各自持参 (一部無料あり)	情報交換・健康体操 手芸持ち寄り他	健康体操・歌・談笑 お好きな時間にご利用 できます	コーヒーやお抹茶で気軽 なおしゃべり 催し物は要問合せ
サロンの紹介	・月2回開催 ・参加費100円	・水分補給のため飲物 はお持ちください ・予約・参加費は不要	・参加費200円	・どなたでもご利用OK	・どなたでもご利用OK ・各回の催しもあります ・うどんランチ400円 (要予約)
代表者 問合せ先	米澤正子 7185-5835	社協スタッフ(小松) 7165-3434	高桑照子 090-2163-4524	小曾根正子 7182-6552	入野勢津子 7186-0728
関係団体	つくし野南自治会	我孫子北地区 社会福祉協議会		並木連合会	久寺家まちづくり協議会 みんなのひろば「風」

*近隣センター並木本館では、ラウンジでコーヒーなどを100円で提供しています。また【*わがまち散策ひろば*】
で毎回お知らせしています、並木小「ふれあいサロン」(高齢者のつどい)でも我孫子北近隣センター並木本館など
で、毎月第4金曜日に高齢者向けの行事を行っています。ご利用下さい。

まちづくりネットコーナー Vol. 26

こども食堂 ~ みんなで食べる健康的な食事 ~

昨今、子どもの貧困が話題になり全国的にも子ども食堂
の開設が広がっています。我孫子でも昨年6月に我孫子駅
南口のクリエイティブスペース『ハコカラ』でオープンし
ました。

家庭の事情で、手づくりの温かいご飯が食べられない、
夕食は一人で食べる、朝食抜き等の食事情の子ども達に、
地元の旬の野菜を使った美味しい夕食を御馳走したいと、
女性4人で始めました。ボランティアも集まり今は8人の
スタッフで約50人分の食事を用意しています。

- ◆日時：第2・4木曜日 17時~19時半
- ◆対象：大人も子どももOK
- ◆費用：1人300円 予約不要
- ◆主催：ハコカラ
- ◆連絡・問合せ 7170-0765 (石井)

野菜嫌いな子が「美味しい!」とって完食したり、「楽し
い!」とってくつろいでいたり、自然と挨拶ができるよ
うになったり、スタッフの料理の腕が上がったり、その効
果は想定以上だとか!

美味しい食事を通して子どもも大人も顔と顔で繋がる人
間関係が広がり、自分達の住むまちに関心や愛着がわくき
っかけになればと代表の石井亜矢さんは語っています。
どなたでもご利用になれます。



食事を楽しんでいる食堂の様子



美味しい食事を作るスタッフの皆さん

* 編集閑話 *

今回の特集「働く女性たちの・・・」のインタビューを終えて仕事を持ちながら社会的な活動をしている方々のバイタリティ、先を見越したそれぞれの人生設計や社会観、楽しくいきいきと語る若いパワーに、年配の編集スタッフは「目からウロコ!」という感じでした。小生は参加者の発言される言葉の端々から出る行動力、決断力の高さに感心させられました。今後の皆さま方のご発展をお祈りいたします。
☞ T.K

発行者：我孫子北まちづくり協議会 広報部会

*並木本館
〒270-1165 我孫子市並木5-4-6
TEL: 7157-4517 FAX: 7157-4518

*つくし野館
〒270-1164 我孫子市つくし野3-22-1
TEL: 7157-4085 FAX: 7157-4086

URL: http://www1a.biglobe.ne.jp/abikokita_kinrin/